2021年1月25日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　JH橋本、洞口

〇〇病院の感染リンクナースを活用した教育実践について

1. 目的

院内における感染症予防教育の主軸をなす、感染リンクナースが教育実践を行うことで、　組織的に個人の標準予防策、個人防護具の使用等の習得を目指すことが目的である。

1. 目標

１）各部署の感染リンクナースおよびサポート役が中心となり、スタッフの感染症予防教育を行い、感染症対策の知識・技術・取り組む姿勢における向上を目指す。

２）全スタッフが個人防護具着脱技術を習得し実践できる。

1. 対象者

全部署の看護師（看護師長、主任含む）、看護補助者、コメディカル（リハビリ、薬局、検査、事務、エイド）であるが、早急に技術獲得が必要なスタッフの優先順位は全部署の看護師、看護補助者とする。

1. 教育実践における内容
2. 組織の動き

　個人防護具の技術習得が必要なスタッフは、全部署の看護師（看護師長、主任含む）、看護補助者、コメディカル（リハビリ、薬局、検査、事務、エイド）である。

・感染対策師長

1. 各部署感染リンクナースとサポート役が個人防護具の着脱技術習得ができるまで個人防護具着脱評価表を使用し指導・評価を行う。
2. 各部署の感染リンクナースから各部署の集計結果を受け取り、部署毎の評価内容を確認する。
3. 全部署の個人評価の集計を行う。
4. 全部署評価・個人評価の集計結果はグラフで可視化し、看護部長室前や更衣室前などに提示する。

・感染リンクナースとサポート役

1. 全部署の感染リンクナースとサポート役は、感染管理師長から指導を受け、合格するまで訓練し個人防護具着脱技術を習得する。合格後にスタッフの指導・評価を行う。
2. スタッフ全員の勤務を把握し、指導計画（いつ誰に指導を行うか）を立案し指導・評価する。
3. 指導計画日に対象者を評価する。対象者に個人防護具着脱を実施してもらいながら自己評価と同時に他者評価・指導も行う。
4. 各部署の感染リンクナースは自部署の他者評価結果を集計し、感染対策師長へ報告する。

２）個人の動き

1. 日々の業務において、一人ひとりが感染症対策に取り組む。
2. 個人防護具着脱実施後に評価者と供に自己評価し、同時に他者評価もしてもらう。
3. 指導を受けずに実施できるまで繰り返し何度も指導・評価を受ける。

●感染管理師長週間計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 1週目 | 2週目 | 3週目 | 4週目 |
| 動き | ILTに指導 | 各部署の指導進行状況確認・フォロー | 個人データ集計、グラフ化 | 各部署・個人データ結果提示 |

●各部署ILT週間計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 1週目 | 2週目 | 3週目 | 4週目 |
| 動き | 個人指導評価強化週間 | 各部署データ集計、グラフ化 | 感染管理師長へデータ報告 | 指導計画の見直し |

ILT指導

個人評価集計

感染管理師長

スタッフ指導

他者評価集計

**感染リンクナース　サポート役**

**スタッフ（看護師長・主任含む全員）**

自己評価